

日 時	令和6年1月26日(金) 13:10~15:40
学校名/機関名	栃木市立東陽中学校
対 象	187名
講 師	林 明夫 氏 (株式会社開倫塾 代表取締役社長) 奥山 浩司 氏 (日本プラスター株式会社 代表取締役)
内 容	<p>今回は、1年生の進路学習として「これからの社会に求められる力とは」「中学生のうちにやるべきこと」というテーマで講演を行った。</p> <p>林氏は、自身の経営する日本語学校の実状から、グローバルで活躍できる力が必要だと伝えた。そのためには英語の力はもちろん、自分の国、日本の良さを良く知っていることが大切だと話していた。だからこそ、全ての知識の基礎である中学校時代の勉強を真剣にやらなければならない、と生徒たちに強く語っていた。</p> <p>奥山氏は、中学生のうちにやっておくべきこととして、目標を立ててそれに向かって本気で努力することを伝えていた。高校時代に1日16時間勉強し、学力を急上昇させた自身の経験から、本気になれば何でも叶えられる、ということを生徒たちに力説していた。また、本を読み世界を広げ、新聞を読み、世界に自分を合わせることも大切だと語っていた。</p> <p>生徒たちは、両者の問いに積極的に答えており、講演はとても盛り上がった。そして、両者とも中学1年生に分かりやすい言葉で、今大切なことを話してくれたため、とても充実した講演となった。</p>

